

授業科目名	子どもとおもちゃ	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	専門教育科目	開講時期	後期（9月5日～1月27日）
学部・学科等	子ども生活学部	曜日	木曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	2限（10：50～12：20）
標準対象年次	3－4学年	授業形態	演習
単位数	1単位	授業会場	宇都宮共和大学長坂キャンパス
担当教員名	市川 舞		
電話番号（代表者名）	028-649-0511（代）	e-mail アドレス	ichikawa@kyowa-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> おもちゃの機能・役割について考察する。伝統的玩具から流行玩具など概観しながらおもちゃの普遍性や可変性について考察する。さらに、おもちゃを用いた遊び体験や手作りおもちゃ製作等の教材研究を行う。これらを通して、子どもの興味・関心や発達を考慮したおもちゃ選びやおもちゃづくりを構想する力を養う。</p> <p><前提とする知識・経験> 特になし</p> <p><授業の具体的な進め方> 配布資料を中心に進める講義とともに、製作や遊び体験などの教材研究、さらにグループディスカッション等演習を行い、他者と協同的に学ぶ機会を設ける。</p> <p><授業計画> 第1週 子どもとおもちゃ：子どもにとってのおもちゃ 第2週 さまざまなおもちゃ(1)：伝統的玩具から流行玩具の変遷 第3週 さまざまなおもちゃ(2)：郷土玩具 第4週 おもちゃ体験(1)：<大人－子ども>の視点 第5週 おもちゃ体験(2)：素材の異なるおもちゃ 第6週 おもちゃ体験(3)：おもちゃの多様な遊び方、発展 第7週 おもちゃ体験(4)：子どもの経験内容 第8週 さまざまな子どもへの配慮：安全基準、ユニバーサルデザイン 第9週 おもちゃをつくる(1)：子どもの発達を考慮した手作りおもちゃ 第10週 おもちゃをつくる(2)：手作りおもちゃの計画 第11週 おもちゃをつくる(3)：試作品の試し、反省・評価 第12週 おもちゃをつくる(4)：試作品の改善 第13週 おもちゃをつくる(5)：遊びの計画 第14週 おもちゃをつくる(6)：遊び実践 第15週 子どもの発達を支えるおもちゃ</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 教科書は使用しない。授業時に資料を配布する。 参考書：認定NPO 法人日本グッド・トイ委員会監修、「おもちゃインストラクター入門－子どもの発達にあわせた玩具と手作りおもちゃを学ぶ」、黎明書房、2007年、2200円 日本人形玩具学会、「日本人形玩具大辞典」、東京堂出版、2019年、16500円</p> <p><成績評価法> ①演習への取り組み（50%）、②課題レポート（50%）による総合評価。 演習およびレポートの評価はコモン・ルーブリックにて行う。</p> <p><教員からのメッセージ> 遊びはまさにアクティブ・ラーニングです。子どもの主体的遊びを誘うおもちゃについて考えましょう。</p>		

